

1/20  
(水)

## イチゴを味わい食農教育に

矢板中学校で、JA しおのやから管内で生産されたイチゴの贈呈式が行われました。これは、県の特産品であるイチゴを小中学校の給食に提供することで、食への関心を高め、農業の役割を理解してもらうことを目的にJA グループ栃木が一体となって毎年行っているもので、本市への寄贈は今回で3回目になります。和氣代表理事専務は「いちご部会が丹精込めて作った旬のイチゴを味わってほしい。イチゴを食べた子どもたちが少しでも農業に興味をもってもらえれば」と話されました。



▲ (左から)  
【矢板中学校】  
・安達給食副委員長  
・佐藤給食委員長  
【JA しおのや】  
・和氣代表理事専務  
・大澤常務理事

1/27  
(水)

## 屋外でも注意しよう

矢板市シニアクラブ連合会が、感染予防への意識が薄れがちになる屋外でも感染に注意する意識を高めてほしいと、屋外で運動する高齢者に向けたチラシを作成し、周知協力をお願いに市長を訪問しました。チラシには、感染予防の3つの基本や屋外で感染が生じやすい身近な場面などが書かれています。横山会長は「屋外での運動なら安全と考えている高齢者が多く見られるので作成した。感染者が増えないよう市体育施設を使用する団体にも周知してほしい」と話されました。



▲ (左から)  
・小口 晋副会長  
・横山 和夫会長  
・齋藤市長  
・三好 良重副会長

2/11  
(祝・木)

## サッカーっておもしろい!

とちぎフットボールセンターで、「ガールズサッカー体験会」が行われ、市内外からサッカーに興味のある小中学校の女子児童生徒 41 人が参加しました。これは、2022 年のいちご一会とちぎ国体で、サッカー競技 (少年女子) が本市を会場に実施されることから、その PR のため初心者向けに体験会を開いたものです。

参加した子どもたちは「始めはボールが少し怖かったけど、優しく教えてもらったので楽しかった。もっとサッカーがしたいので教室に参加したい」と笑顔で話してくれました。



2/12  
(金)

## 空き家等の適正管理に

市役所で、市と (公社) 市シルバー人材センターおよび建設関係団体との「矢板市における空き家等対策の推進に関する協定書」の締結式が行われました。これは、近年増加している空き家や空き地の所有者などから管理や修繕などの相談があった場合に、内容に応じた団体を紹介することで、管理不全な状態にならないようにし、生活環境を保全することを目的に締結されたものです。

市長からは「締結を契機に空き家などの適正管理が円滑に進むことを期待している」との話がありました。



▲ (左から)  
・齋藤市長  
(公社)市シルバー人材センター  
・白石 哲夫理事長  
市建設業協会  
・吉澤 博好会長  
全建設栃木県建設労働組合矢板支部  
・小原 清徳支部長